様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 570301	シルバー人材センター補助事業	主管課名	高齢福祉課
この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		
	施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち	課長名	深谷　真由美
	基本事業	公益社団法人シルバー人材センターへの支援		

(1)事業の概要

「自主、自立」「共働、共助」の理念に基づき、豊かな経験と技術を持つ高齢者に対し、安全で働きやすい就業の場を提供することにより、健やかで生き活きとした老後の生活の維持を図ることを目的に、シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓など高齢者の生きがい事業に対し、補助金を交付している。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	シルバー人材センター数	か所
②		
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓、広報活動の強化、会員の研修と福利事業、安全就業の推進など、及びその他、高齢者の生きがい事業を補助事業として、補助金を交付する。
26年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

シルバー人材センターの会員

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	シルバー人材センター会員数	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

シルバー人材センターの運営が適正になされる

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	シルバー人材センター受注事業所件数	件
②	会員の就業率	%
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

生きがいのある充実した生活を送ってもらう

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	シルバー人材センター会員の延就業人数	人
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	か所	1	1	1	1	1	1
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	322	334	346	358	372	386
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	件	1,913	1,920	1,964	2,041	2,121	2,204
	②	%	95	95	95	95	95	95
	③							
(8)の結果の成果指標	①	人	42,563	43,118	43,980	44,859	45,756	46,671
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	03	項	01	目	06

(11)コスト

		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	42,766	39,810	45,704	49,104	49,325	49,725
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	42,766	39,810	45,704	49,104	49,325	49,725
人件費B		千円	735	223	223	223	223	223
	正職員従事時間×人数	時間×人	195 × 1	30 × 2	30 × 2	30 × 2	30 × 2	30 × 2
	正職員以外の人件費	千円						
その他費用C		千円		23	23	23	23	23
トータルコストA+B+C		千円	43,501	40,056	45,950	49,350	49,571	49,971
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	135	120	133	138	133	129
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	570301	シルバー人材センター補助事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

昭和６３年　　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

シルバー人材センターの発足

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容：経済状況が不安定

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

みよし市シルバー人材センターは、平成24年度に「公益社団法人」の認可を受け、請負事業だけでなく派遣事業も実施し民間企業と競争運営が予測されることが課題。
退職年齢の60歳から65歳への延長、近年の不況等により、会員の拡大及び就業機会の開拓が難しい状況にある。

3 評価（SEE）

目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	公益社団法人みよし市シルバー人材センター補助金交付要綱
			この事務を行う根拠又は理由	豊かな経験と技術を持つ高齢者の安全で働きやすい就業の機会の確保と提供をし、健やかで生きいきとした老後の生活の維持
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	適正な法人運営がされているため。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 □ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）

(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	今後も継続して補助していく。					